ぜんせき
THE ZENSEKI

第7853号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

8月20日（月曜日）　2018年（平成30年）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

中小SSの経営健全化に全力

中小組合員SSの経営健全化を図ることが経営部会の最優先課題であり、その推進役として喜多村利秀部会長が新任された。活動方針では①異業種SS対策の検討②元売・発券店値付けカードの改善要望などを掲げる。今月上旬からは早くも元売歴訪をスタートさせ、精販における問題意識の共有化を図る。

全石連・部会長インタビュー

経営部会　喜多村利秀氏

Q　部会の基本方針について。

西日本豪雨でも再認識されたが、石油は災害時の〝最後の砦〟。特に地場SSはきめ細かい配送機能を持ち地域密着に徹しており、安定供給に欠かせない。その地場SSの事業継続には、適正な収益確保ができる健全な市場構築が重要だ。元売統合で需給適正化が進み健全化の兆候もあるが、全国的には道半ば。「行動する経営部会」を志し、精一杯の尽力をしていきたい。また、満タン&灯油プラス1缶運動推進委員会によってさらに強化される同運動への支援も続ける。

Q　精販における認識共有の重要性は。

元売統合で影響力が高まる中、精販で問題意識を共有することは大事。資源エネルギー庁と公正取引委員会が参加する精販協議会も継続したい。発券店値付けカード手数料は経営環境の変化を踏まえ、適正水準への改善を求めていく。加えて、SSを持たない事業者の発行するカードはSSネットワークの強靭化にも反し疑問を感じる。販社の率先垂範も継続が大事で、それは市場適正化に向けた元売の意思を示すことにもなる。また、全農SSは本来、組合員への燃料供給が使命のはず。過疎地では重要な存在でもあり、我々商系と役割分担して安定供給を支えていくことを望みたい。

Q　廉売PTへの期待。

石油流通問題議員連盟の設置した廉売問題プロジェクトチームに期待する。燃料油でマージン確保せずともよい大手流通業の参入が再び活発化し、業界の危機感は大きい。大手流通業のSSが災害時に最後の砦としての役割が果たせるのかも疑問である。一度廃業すればSSの再開は難しい。多くの地場SSが廃業した後、問題の重要性を認識しても遅い。

Q　再投資可能なSS経営実現に向けて。

ガソリン内需の減少が進む中、我々業界の利益率は低く、このままでは、次のエネルギー供給の担い手となるための再投資ができない。人材確保の問題も深刻であり、ボリュームよりも利益を基準にした経営に転換すべき時期にある。

≪経営部会メンバー・敬称略。◎正、○副≫

◎喜多村利秀（福岡）、○亀井喜久雄（三重）、○村上芳弘（栃木）、吉国知識（北海道）、遠藤靖彦（山形）、安藤順夫（千葉）、川端定則（東京）、戸原秀之（神奈川）、小澤信行（愛知）、吉井大祐（京都）、山本雅英（大阪）、岡部憲治（山口）、武井勝一（高知）、笹田隆司（鹿児島）、比嘉基成（沖縄）

エネ研　ブレント原油価格を予測

価格変動幅が上昇

今年下期75㌦、19年70㌦中心

日本エネルギー経済研究所はこのほど、石油の需給、原油価格動向をまとめた国際石油情勢展望を発表した。国際原油指標の1つであるブレント価格は、2018年下期平均で75㌦、19年平均で70㌦を中心水準として、価格変動幅が上昇すると予測。これまで産油国の減産をカバーしてきたサウジアラビアを中心に、余剰生産能力が低下する一方で、イラン情勢の流動化と減産の見通し、テロの発生やホルムズ海峡での原油タンカーなどの安全航行への懸念など中東の地政学リスクが高まり、大規模な供給支障への不安が広がっているほか、米国・中国を中心とする貿易戦争の行方が影響する可能性を示唆した。

一方、世界の石油需要は今年第2四半期（1～6月）で前年同期比0・9%増、日量90万㌭増の9880万㌭となった。油価の上昇で需要増加は鈍化している。

世界経済は堅調さを維持するものの、貿易戦争や米利上げの影響といった懸念事項を抱え、18～19年にかけては1・3%増、日量130万㌭程度の増加を想定した。

世界の石油供給量は、今年第2四半期に1・5%増、日量150万㌭増の9850万㌭で、若干の供給不足となった。6月時点でのOPECの減産目標順守率は100%と、前月の152%から大幅低下した。

トランプ政権が5月にイラン核合意からの離脱を表明し、イラン原油輸入国に対して輸入停止を要請したことで、イランの急激な生産量減少が懸念されるとした。

今年6月からの減産量は年末までに日量約100万㌭、来年末までには日量約150万㌭に達する可能性があると先行き不透明感を示唆している。

OPECと非OPECは6月に減産幅の緩和を決定。これを受けてサウジを中心に増産を行っている。サウジがイランおよびベネズエラの減産量をカバーすることは可能だが、OPECの余剰生産能力は低下し、急激な需給変動に対する脆弱性が増すため、価格変動幅の上昇要因となるとした。

米国の原油生産量は今年第1四半期で13・7%増、日量123万㌭増の1024万㌭に達した。シェールオイルの生産性向上や稼働リグ数の増加は直近頭打ちだが、増産基調自体は維持されると想定。

米国を中心とする協調減産不参加国の生産量は今年～来年にかけ日量180万㌭程度増加するとした。

原油コスト1円下落

今週の卸価格に影響する。直近17日の東商取業者は据え置きの様相」（商社筋）とする。中京タンク筋も18日からガソリンは0・9円下げた。17日のTOCOMウインドウ・ガソリン陸上は前日比0・2円安の120・4円。

◇　◇

特約店筋によると、コスモは17日からの週決め仕切りを前週比で1・0円安となった。直近の東商取プラッツ・ドバイ原油は㌦建てで前日比0・09㌦高の69・82㌦、円建ては0・2円高の48・7円。

国内ガソリン陸上スポットは弱含み。お盆明け以降、売り急ぐ動きがある一方、「月前半に先行値下げした卸コスモは17日からの週決め仕切りを前週比で1・0円安となった。6月時点でのOPECの減産目標順守率は100%と、前月の152%から大幅低下した。

トランプ政権が5月にイラン核合意からの離脱を表明し、イラン原油輸入国に対して輸入停止を要請したことで、イランの急激な生産量減少が懸念されるとした。

今年6月からの減産量は年末までに日量約100万㌭、来年末までには日量約150万㌭に達する可能性があると先行き不透明感を示唆している。

OPECと非OPECは6月に減産幅の緩和を決定。これを受けてサウジを中心に増産を行っている。サウジがイランおよびベネズエラの減産量をカバーすることは可能だが、OPECの余剰生産能力は低下し、急激な需給変動に対する脆弱性が増すため、価格変動幅の上昇要因となるとした。

米国の原油生産量は今年第1四半期で13・7%増、日量123万㌭増の1024万㌭に達した。シェールオイルの生産性向上や稼働リグ数の増加は直近頭打ちだが、増産基調自体は維持されると想定。

米国を中心とする協調減産不参加国の生産量は今年～来年にかけ日量180万㌭程度増加するとした。

週仕切り指標のコスト変動と推計値（＊原油＝価格適用期間のFOB平均値）　（円／L）

適用期間	原油	ガソリン			灯油			軽油			A重油
土～金曜		スポット	系列卸	TOCOM	スポット	系列卸	TOCOM	スポット	系列卸	TOCOM	スポット
2018年7月（前月比）	0.34	▲0.1	▲0.1	1.1	0.2	▲0.1	0.8	0.0	▲0.1	1.9	▲0.1
8／1週	0.75	0.3	▲1.0	▲0.6	▲0.6	▲1.0	0.3	▲0.9	▲1.0	▲0.6	▲0.9
2週	0.05	0.8	1.0	▲0.6	0.2	1.0	▲0.7	0.3	1.0	▲0.1	0.1
3週	▲0.36	▲1.1	▲0.5	▲0.3	▲0.4	▲0.5	▲1.1	▲0.4	▲0.5	▲0.6	▲0.3
前週実勢値	50.87	120.3	120.3	117.7	67.1	67.5	65.3	68.0	67.5	68.3	65.4
前週標準仕切り推計	---	---	123.3	---	---	70.5	---	---	70.5	---	---
4週	▲1.03	▲0.5	▲0.5	0.4	▲0.6	▲0.5	▲0.2	▲0.5	▲0.5	0.0	▲0.3
当週実勢値予測	49.84	119.7	119.8	118.1	66.5	67.0	65.1	67.5	67.0	68.3	65.1
最近値	49.44	119.8	119.8	118.1	66.3	67.0	65.1	67.3	67.0	68.3	64.9

7月原油CIF0.7円高53・4円

財務省が16日発表した7月原油CIF価格は、㌦建てが前月比0・35㌦高の76・66㌦と3ヵ月連続で前月を上回った。円建ても、為替が110・78円の円安で推移したため、690円高のキロリットル5万3421円と3ヵ月連続で前月を上回った。

スクラバー排水影響著しく低い

国土交通省・環境省などによる専門家調査会は先ごろ、船舶用燃料油の硫黄分濃度規制強化に対応する手段の1つである「排ガス浄化装置」（スクラバー）からの排水による水質などへの影響可能性を検証した結果、「短・長期的いずれも著しく低い」と結論付けた。全油種0・5円値下げした。

経営実態調査にご協力下さい

全国へ調査票16日発送

石油協会

全国石油協会では今年度も、全国9千企業を対象に石油製品販売業経営実態調査を実施いたします。16日に調査票を発送いたしました。調査票が届いた石油販売業者の皆様におかれましては、業務ご多端の折、誠に恐縮に存じますが、本調査のご趣旨をご理解賜り、何卒調査にご協力下さいますようお願い申し上げます。

本調査は、1975年から石油製品販売業者の皆様の経営状況についてアンケート方式によって行い、石油製品販売業の経営実態を表やグラフを多用しわかりやすくまとめることで、石油製品販売業者の皆様のSS経営の改善に向けた参考資料として活用することを目的として実施しております。

また、石油製品販売業・SSの経営実態を把握する唯一の指標として、国の政策支援などを要請する際の基礎資料となっているほか、石油製品販売業のご協力下さいますようお願いいたします。

調査票をご提出いただいた方には洗車用タオルを贈呈させていただきます。また後日、調査結果の要点をまとめた報告書をお送りいたします。ご希望の方には全回答事業所および地域ごとの「売上高」「粗利率」などについての平均値と貴社のポジションを示した「経営指標」もお送りいたします（記入内容に不備があった場合は集計不可能となるため、「経営指標」をお送りすることができない場合がありますのでご了承下さい）。財務状況欄につきましては決算書のコピーを添付していただくことで調査票へのご記入は不要となります。

なお、ご提出いただいた調査票は同調査報告書作成のためすべて統計処理いたしますので、ご回答いただいた内容が公表されることは一切ございません。

東京ガソリン卸（7月分）

系列125.6円・業転123.5円

格差2ヵ月連続2円水準

東京・仕入価格調査結果　（消費税別：円／㍑）

		最高	最低	平均	最多価格帯
系列	ハイオク	139.6	132.8	135.6	135
	レギュラー	129.6	122.8	125.6	125
	軽油	108.9	102.1	104.9	104
	灯油	77.1	69.0	72.8	72
流通卸	ハイオク	134.5	132.4	133.5	–
	レギュラー	124.5	122.4	123.5	123
	軽油	103.1	100.7	101.9	–
	灯油	70.6	69.1	69.7	69

東京石商政策委員会（大家章嘉委員長）が15日までまとめた「7月分」の仕入価格調査結果（消費税別、回答数24件）によると、前月比でレギュラーの系列平均は0・2円安の125・6円、流通卸（業転）平均は0・3円安の123・5円で、格差は前月の2・0円から2・1円とわずかに拡大した。系列業転格差が2円以上開いたのは2ヵ月連続。最多価格帯は、系列が横ばいの125円、業転が1円安の123円だった。消費税込み価格は、系列平均が0・2円安の135・6円、業転平均が0・3円安の133・4円。

軽油の系列平均は0・3円安の104・9円、業転平均は0・5円安の101・9円で、格差は2・8円から3・0円にやや広がった。最多価格帯は、系列が横ばいの104円。

おことわり　「沖縄・座間味島レポート〈下〉」は2面に掲載します。

きょうの紙面
2面　関東・〝厳し過ぎる夏〟に冷汗
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　関東版・栃木・満タン官民一体で／東京版・水素推進チーム初会合
4面　中部版・宇佐美支部長に聞く／月間DATA

ポンプあいうらえど

▼忍者が足りない―。これは戦国時代ではなく現代の話。インバウンド効果で各地のテーマパークでは忍者ショーが大人気なのだが、きちんとした殺陣ができる人が少なく、重労働のため少人数で運営せざるを得ないようだ。観客の目も肥えてきており、期待に応えられるだけのサービス提供も求められている▼海外からの注目は高まっているが、今年7月ごろには伊賀市が忍者を募集中で、しかも年収が最高で900万円以上なのに成り手がいないというフェイクニュースが全世界を駆け巡り、市役所には各国から問い合わせが殺到した。市は慌てて否定するコメントを発表し、市長が緊急記者会見を実施する事態になった。忍者を通じて日本の文化発信や地域活性化を図ろうと議員連盟も発足しており、期待だけは年々高まっている▼エンターテイメントだけでなくSS業界も人手不足が叫ばれて久しい。3K職場だけでなく、石油そのものが化石燃料で環境破壊の要因という、悪い印象だけが世間に広まっている▼忍者は戦争に必要な情報などをもって主君を勝利に導いた。石油は地域の生活に必要なエネルギー源であり、それを運んでいるのは地場のSS業者。平成30年7月豪雨ではポンプ車など災害車両に燃料供給し復旧を陰から支えたように、実は誇り高い仕事なのだが。

論説

8つのチャレンジを応援

全石連が進めるSS過疎地対策検討支援事業の今年度の事業が決まった。同事業審査委員会が7月までに申請のあった計画について審査し、8事業を採択した。市場環境は持ち直しつつあるものの、少子高齢化や離島・山間部での過疎化には歯止めがかかっていない。これらの地域で踏ん張る中小の地場SSの経営は依然、厳しい。今回、新たに採択された8件のチャレンジ事業が、我々にいくつかの道筋を示してくれるのを期待したい。

SS過疎地対策支援事業は3タイプの事業に区分される。その1つが「再構築実証事業」である。地域SSが自治体などとコンソーシアムを組み、石油製品を効率的・安定的に供給できるようにするもので、①沖縄県の離島・座間味島における地上タンク設置によるガソリン安定供給のための備蓄事業②岡山県津山市でのSSを拠点とした日用品と灯油の同時配達事業③静岡県浜松市天竜区でのタンクローリー直結型計量機を活用した臨時給油実証事業の3事業だ。このタンクローリー直結型計量機については昨年度、同支援事業の「技術開発実証事業」として行われていたもので、今回は再構築事業として実践投入され、その有効性を探る。

第2の「技術開発実証事業」では①コスモ石油マーケティングのAIによる自動給油許可システム構築事業②コモタによるSSゼロ自治体へのコンテナ型仮設SSの技術検証が承認された。これは、先月出された「次世代燃料供給インフラ研究会」報告書で指摘された新技術導入の提言をもとに、具体的に技術開発に挑戦する。

第3として、自治体が住民利便性確保を目的に燃料供給体制を計画する「SS過疎地計画策定支援事業」は今回、3町村で行う。①宮城県七ヶ宿町のミニSSやローコストSSの導入、需要家の利用促進策の策定②長野県売木村の道の駅へのミニSSの設立③同県天龍村の村営スーパーでの行政サービス提供や移動販売にSSが連携する計画などである。自治体が住民の声を背景に燃料供給体制を整備するケースは増えているが、維持・継続することは難しい。その課題を引き出し、解決策を見出すのが支援事業の目的でもある。これらの多様な事業の成果が組み合わされ、地域に広がることを期待したい。業界としてそのチャレンジに注目していきたい。

TATSUNO

TATSUNO Challenge

一歩先行く
「環境づくり」

タツノはこれからも、環境保全、
給油の安全性、
経済性への貢献を通じて、
より良きパートナーとなるために、
さらなる努力を重ねてまいります。

新製品

L100R　TOWER-NX D70S　SUNNY-NX D70S

ベーパー液化回収装置

株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　TEL 050-9000-0567

http://www.tatsuno.co.jp/

〝厳し過ぎる夏〟に冷汗

マージン圧縮　労務コスト増

量と質、困惑する関東業者

最需要期を迎えた関東地方だが、SSは正念場の状況が続いている。ガソリンは高コストの中で粗利が圧縮する傾向が顕著となりつつあるほか、連日の猛暑が労務面でのコスト増にもつながっている。1SS事業者は現状に「売れても儲かる気がしない」と困惑する。

ガソリン価格がここ1カ月で一気に5円は値上げされた。「現状の価格では夏前と比べマージンはかなり圧縮された。できれば5円は値下げしてほしい」と明かす。だが、夏場商戦に販売面で劣勢に立つ不安もあり、量と質の間で戸惑いが生じているようだ。

一方、酷暑も経営に深刻な影響を与えている。埼玉県のフルSSを運営する販売業者は「いま従業員にフィールドで声かけを求めることはできない。油外商品の売り時ではあるが、あえて従業員に休みをとらせている」と話す。熱中症対策が理由だが、「想像以上に経営に影響する」という。「確かにクルマのエアコン需要はあるのだろうが、それをうれしがることはできない」と本音を明かし、場合によってはフィールドの気温を引き下げる機器の購入もやむ得ない状況にあるという。

今夏の商戦は低マージンと酷暑対策のコスト増への対応が必要とみられる。

日曜日が定休日であることを知らせる看板

熱中症対策など労務環境改善推進

愛媛・山内石油

空前の売り手市場の中、慢性的な人手不足が続くSS業界にあって人材の確保は多くのSSが抱える大きな問題となっているが、この夏の猛暑は熱中症予防などSSスタッフの健康管理という新たな課題も浮き彫りにした。

愛媛県の山内石油（山内章正社長・JXTG系）では今夏を「猛暑の期間が例年に比べ長期化している」とし、熱中症予防のため各SSに経口補水液を置いたり、日中はスタッフを30分交代で室内で休ませるなどの対策を図っている。また、法人客の比率が高く日曜日の来店客が少ないSSでは、日曜日を定休日にするなどして労働環境の改善にも努めている。人材確保には新卒者の獲得は欠かせないが、まずは現在勤務しているスタッフの環境作りが大事だ。SSの仕事は猛暑でも屋外の仕事が中心。ほかの業種に先駆けて熱中症対策を講じることで、従業員の労働環境の改善だけでなく、人材募集の際にも必要な対策になると考えられる。

山内社長は、「SSでの熱中症予防対策の具体例などをまとめて組合員に配布するなど、業界を挙げての取り組みが必要だ」と指摘する。

島にタンク！　沖縄・座間味島レポート＜下＞

〝800リットルの壁〟解消し楽園へ笑顔

SSは島民の暮らしを支えている

沖縄県・座間味島の座間味給油所は島で唯一のSSだ。所長の桜田岳二さんが「配達に行ってきました」と、事務所に帰ってきた。

「国立公園になり、ミシュランのグリーンガイドで選ばれてから観光客が急に増えて来ましたね」と忙しそう。席を温めるいとまもなく、給油客が次々にやってくる。バイクで給油缶を持って来た人がいた。聞くと「真珠の養殖をやっているのですが、海水を循環させるポンプに使う燃料にします」という。ガソリンは車以外にもなくてはならない燃料だ。

桜田さんは、神奈川県出身で、ウインドサーフィンのインストラクターの資格を持っている。20代のころからたびたび島を訪れてサーフィンを楽しんでいるうちに島の美しさ、島民とのふれあいに魅せられて15年前に移り住んだ。

「夜、浜辺に出ると空いっぱいに無数の星が輝いています。夜空を見ているだけでも最高です」と笑顔を見せる。

SSの悩みは、ガソリンの輸送量が限られていることだ。フェリーにドラム缶を積んで輸送しており、1回の運搬で800㍑しか運べなかった。SSはポータブルなので、大量の備蓄ができない。

一方で、観光客が増えていることもあって販売量も増加。

防犯カメラ補助など10項目

都議会自民に要望継続へ

東京油政連

東京都石油政治連盟（谷口寿亜会長）は先ごろ開いた理事会で、毎年9月に都議会自民党が実施している「東京都予算等に対する要望」に東京石商（矢島幹也理事長）と連名で提出する内容を協議し、「SSへの防犯カメラ設置補助」「発券店値付けカード問題の改善支援」などを重点に10項目を要望し続ける方針で一致した。

特に防犯カメラについては「SS敷地外の事件・事故の解決にも役立つと確信している。また都とオンラインで結ぶことで、大規模災害時にはリアルタイムで道路や燃料供給の状況を把握できる」などと指摘。こうしたSSの〝公共的な役割〟も踏まえ、都が防犯カメラの設置を補助してきた町会・自治会・商店会などと同様に、SSも補助対象に加えるよう求める考えだ。

一方、発券店値付けカードに関しては全国的に問題意識が広がっていることを説明するほか、人件費の急騰などにも直面し経営が逼迫している石油販売業界として、低い給油代行手数料のままではSS存続が一層危ぶまれ、安定供給体制が損なわれかねない実情を訴えていく。

執行部が説明を加えながら要望項目を取りまとめた

香川石商オリーブ会　納涼会で英気養う

【高松】香川石商青年部オリーブ会（西岡卓也会長）は先ごろ納涼会を開き、親睦を深めた。高松市内のビアホールで開催された会合には会員7人をはじめ同石商の鈴木敏朗副理事長も参加。厳しい暑さが続く日中を忘れ、楽しい会話と料理で英気を養った。

次世代車の普及や若者の車離れなどにより燃料油の減販が進行する中、SSの将来展望を探るうえで、系列を越えて業界の将来を担う若手の連携、情報交換の必要性がますます高まっている。

西岡会長（写真）は「猛暑が続く中、暑気払いで親睦を深めてほしい」とあいさつした。

増収も4社は減益

主要燃料6商社1Q決算

主要燃料6商社（伊藤忠エネクス、三愛石油、カメイ、ミツウロコGHD、シナネンHD、三谷商事）の今期第1四半期決算（4～6月）は、収益面で苦戦している傾向がみられた。

6社が発表した決算短信や四半期報告書（有価証券報告書）をもとに、石油販売子会社などを含めた燃料小売関係の売上高や収益を集計した（表参照）。売上高は「外部顧客への売上高（収益）」から抽出。セグメント利益でIFRSを採用している忠エネのみ「税引前四半期利益」を引用している。

それによると、前年同期比で売上高は原油価格上昇に伴い5社が増収。忠エネは社内再編の効果も重なり45％増と大幅に伸びたが、三愛は減販が大きく響き減収した。収益面では6社中4社が減益。特にミツウロコはエネルギー事業の利益が減少したことから97％減を記録、三谷はSSの競争激化を要因に挙げている。一方、増益となったシナネンは貸倒引当金繰入額の減少で黒字転換し、三愛は利幅が改善した。

燃料６商社　2018年度燃料部門実績（4～6月）　（単位：億円）

	4～6月				
	売上高		セグメント利益		
		前年比		前年額	前年比
伊藤忠エネクス 生活・産業エネルギー	1,591	44.7%	11.2	14.4	▲22.3%
三愛石油 石油製品関連	1,436	▲1.3%	17.1	15.3	11.9%
カメイ エネルギー事業	514	11.0%	11.1	12.5	▲11.4%
シナネンHD エネルギーソリューション事業	300	8.2%	0.3	▲ 1.1	―
ミツウロコGHD エネルギー事業	299	1.6%	0.1	5.1	▲97.2%
三谷商事 生活・地域サービス関連事業	275	5.9%	8.8	9.8	▲10.5%

東京で全国SRM会　300人集い研修

昭シェル

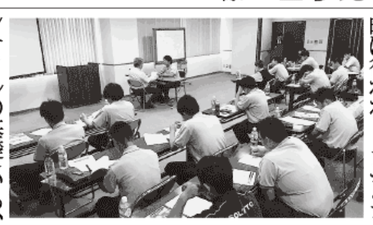
昭和シェル石油は先ごろ、2日間にわたり東京・TOC有明で全国SRM会を開いた。「SSにおけるお客様への価値提供～ビジョンの実現に向けて～」をテーマに、2017年SRM1級認定者11人を含めた約300人が全国から一堂に会した。

今回は顧客目線を重視した研修を実施、講演やワークショップも行われ、将来の環境変化の中で、SSが顧客にどのような価値を提供すべきかを参加者が活発に意見交換した。

オイル販売の基礎　若手が徹底マスター

太陽

太陽石油はこのほど、全国6会場で系列SS向け潤滑油販売プログラム「TOP（太陽オイルプログラム）」の一環として、「第1回オイルセールス基礎研修」を開催した。同研修は若手従業員を対象に、顧客へのオイル交換の提案と実践を目的に行われ、「エンジンオイルの基礎」から、「軽自動車とディーゼル車のエンジンオイルに関する知識」のロールプレイング（写真）によるオイル販売手法を習得する内容。受講者から事前に収集したオイルに関する疑問点などについても、動画などを用いて回答した。TOPは9月にも「第2回オイルセールス基礎研修」を実施し、「駆動系オイル」に関する知識向上を目指すことにしている。



〝往年の名車〟と3万人が再会

オートモビルカウンシル

「自動車文化とヘリテージカーの祭典」を謳い第3回目を迎えた『オートモビルカウンシル2018』がこのほど幕張メッセで開催され、過去最多となる3万人超が来場、往年の名車に再会し楽しんだ。

生産終了から40年ぶりに蘇ったアルピーヌA110（写真）が日本で初めて一般公開されたほか、コルトギャラン、コンパーノスパイダー、ベレット1500オートマチック、コンテッサ1300クーペなど1960～70年代の国産名車も特別招待された。また、ヘリテージカー販売店32社合計で昨年を20台上回る約100台を展示し、販売機会を増やした。（ぜんせきweb写真ライブラリー参照）

東京で全国SRM会　300人集い研修

昭シェル

昭和シェル石油は先ごろ、2日間にわたり東京・TOC有明で全国SRM会を開いた。「SSにおけるお客様への価値提供～ビジョンの実現に向けて～」をテーマに、2017年SRM1級認定者11人を含めた約300人が全国から一堂に会した。

今回は顧客目線を重視した研修を実施、講演やワークショップも行われ、将来の環境変化の中で、SSが顧客にどのような価値を提供すべきかを参加者が活発に意見交換した。

ENEOSでんきキャンペを展開中　JXTGエネルギー

JXTGエネルギーは7月から展開している家庭用電力「ENEOSでんき・この顔を思い出してください〟一軒家〟編と、新ラジオCM「ENEOSでんき・コーラス」編をオンエア中。キャンペーン期間は今月31日までの2ヵ月間で、新規加入者を対象に、供給開始月の翌々月から3ヵ月間の基本料金が無料となる。

一方、新テレビCM・新ラジオCMは新潟と長野を除く関東1都8県で放映されているほか、同社HPでも視聴可能。

SS併設計画なし

滋賀・PLANT高島店

【京都】大手スーパー・PLANTが先ごろ、滋賀県高島市に出店準備を進めていることを発表したことに、同社SS新設の進む京都府石油販売業者は驚きを隠せない。同府木津川市で建設が進む併設SSに、「建設のスピードが速い」とし、PLANTの店舗拡大姿勢がSS網と連動する可能性を警戒する。

ただ、PLANT側は本紙取材に対し「高島市の店舗はSS建設の予定はない」と回答。売場面積は約1万平方㍍、駐車台数571台で、2019年春ごろ開店する予定だという。

これに対し京都府内の特約店社長は「現時点では建設予定はなくても、将来はわからない。コストコの事例を見ても多くの場合、駐車場を改装したという苦い経験がある」と指摘している。

SSを建設しないPLANT高島店

DATAコーナー

■石油先物市場・8／17

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜商上：1枚＝50KL） 16：30現在	前日比	限月	中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL） 16：30現在	前日比
（前日出来高798枚）		ガソリン	（前日出来高10枚）	
64,280	▲20	⑨限月	64,400	▲100
62,530	△30	⑩限月	62,500	0
61,990	▲150	⑪限月	62,000	0
61,570	△260	⑫限月	62,000	0
60,970	△130	①限月	62,000	0
60,610	△170	②限月	61,500	0
（前日出来高271枚）		灯油	（前日出来高2枚）	
65,070	△160	⑨限月	66,300	△600
65,440	0	⑩限月	66,500	0
66,010	△60	⑪限月	67,000	△450
66,020	△90	⑫限月	67,000	0
65,970	▲30	①限月	67,000	0
65,640	0	②限月	67,000	0
（前日出来高-枚）		軽油		
68,300	0	⑨限月		
68,000	0	⑩限月		
67,700	0	⑪限月		
67,500	0	⑫限月		
67,300	0	①限月		
67,100	0	②限月		

原油指標

		前日比
国内指標	$／B	69.85（▲1.04）
	￥／KL	49,160（▲607）
WTI	$／B	65.46（△0.45）
	￥／KL	46,070（△431）

魅力満載の「ぜんせきweb」です。
ぜひとも会員のご登録を!!

機関紙「ぜんせき」は組合員の皆様の立場に立った情報提供を心がけています。「ぜんせきweb」は、そうした機関紙「ぜんせき」の主旨を活かしながら、4ページ立て、週3回という新聞の発行形態にとらわれることなく、web上で随時情報を提供する速報版です。

◆速　報　性　元売の仕切価格情報や気になる市場動向など、速報性が重視されるニュースをリアルタイムでご提供しています。
◆情　報　量　紙面スペースに制限されず、写真、動画や資料・報告書・チラシなど大容量の情報を適宜掲載しています。
◆乙４ｅラーニング　石油業界向けのｗｅｂサイトでは初めてｅラーニングを導入。会員ならどなたでも「乙４模擬試験」を受験することができ、乙４資格の取得率アップにお役立ていただけます。

会員登録方法：インターネットを開き「ぜんせきｗｅｂ」で検索 → 「会員登録について」をクリック → オンラインで登録 → 必要事項入力 → 送信 / ＦＡＸで登録 → 必要事項記載 → ＦＡＸ → 全石連よりメール送信

＊機関紙「ぜんせき」をご購読いただいている組合員の皆様には、月額千円（税別）でご覧いただけます。お支払いは半年単位の前払いとなります。

明日への技術と信頼のサービス
TATSUNO

関東
東京
関東支局（千代田区永田町2-17-14 石油会館）
03（3593）5757

栃木 理事会に高橋国交省大臣政務官が出席

栃木石商・協（村上芳弘理事長）がこのほど開いた理事会に、地元選出国会議員で国土交通省大臣政務官を務める高橋克法参議院議員が出席し、石油業界の現状と今度の課題について講演した。講演要旨は次の通り。

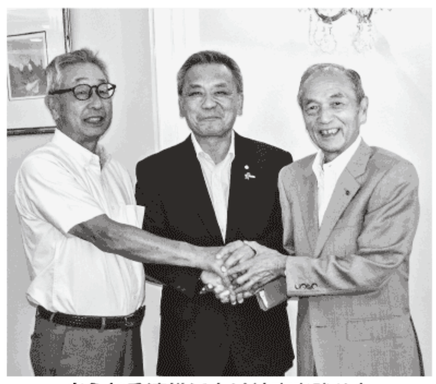
一昨年まではいわゆる業転玉によるガソリン廉売が問題になっていたが、元売の経営統合などによって多少落ち着きを見せている。しかし相変わらずSSの経営環境は厳しく、このままでは地方のSSはなくなってしまう。

公正取引委員会による廉売規制も大事だが、経済産業省で業界に対する指導を徹底することによって、業転玉による不毛な廉売合戦からなるSS経営の疲弊を避けるべき。なにか問題が起きてから慌てて対策を取ったのでは全く意味がない。

今回「独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構法」が法改正され、郵便局のサプライチェーンを守るために国が積極的に関与するという法律に変更された。業界は違えど「利益を追求する企業である〝株式会社〟に対して国が介入する」という事例は、SSの今後を考えるうえで大きな意味を持つ。

西日本豪雨においては、自らも被災しているにもかかわらず自家発電機を稼働させて、最後まで緊急車両の燃料供給に尽力してくれた。

石油組合が推進する『満タン運動』についても、エネ庁と連動して安心・安全な街づくりを目指し、官民一体となって運動を推進していくべきだろう。


さらなる連携に向けた結束を強めた

指導徹底しSSの疲弊回避へ
『満タン運動』官民一体で推進

災害対策委 官公需部会 合同会議開く
災害時燃料配送体制を議論
神奈川

神奈川石商災害対策委員会（吉山昌秀委員長）と官公需事業推進部会（戸原秀之部会長）はこのほど、横浜市内で合同会議を開き、災害時の県内重要施設への燃料供給体制（配送関係）について話し合った（写真）。

会合では、災害時の対応についてマニュアル作成も視野に入れているが、課題も多く、ワーキンググループ（作業部会）を設けるなどして議論を継続することを決めた。

また、病院や上下水道施設など県内重要施設の石油燃料のタンク容量が5㌔㍑以上か未満で線引きし、SSの規模やエリアに応じては供給施設を調整する案などが出た。

このほか、全石連の宮崎昌之環境・安全対策グループ長が「西日本豪雨における石油販売業界の対応」を報告した。

政策・環境委が意見交換
消防法規制緩和 要望書提出など報告
神奈川

神奈川石商政策・環境委員会（澁谷彰樹委員長）は先ごろ、横浜市内で会合を開いた。

同委員会が中心となって取りまとめた「消防法の規制緩和」を求める要望書を全石連に提出したことを報告したほか、新たに加わった委員の紹介や今後の活動について意見交換した。

新委員は、富田石油商会の富田光宣代表取締役（藤沢市・JXTG系）と、カナザワの金澤靖友取締役部長（同・キグナス系）。両委員を加え計14人となった。

澁谷委員長（写真）はあいさつで、「元売再編もあり、昨秋ぐらいからマーケットはよくなってきた。今後1～2年はこの状態が続くのではと、個人的には楽観的な観測をしているが、実際はなにが起こるかわからない。我々は顧客に対してしっかりビジネスを展開していくしかない」と述べた。

従業員の待遇早期改善を強調
長野・経営委

長野石商経営委員会（原山総明委員長）は先ごろ、松本市内で会合を開いた。

原山委員長（写真）はあいさつで、「東京では時給1300円を提示してSSのアルバイトスタッフを募集しても、一切応募がないという話を東京の販社の社長から聞いた。人手不足は大きな問題で地方にも拡大している」と指摘し、「従業員が転職しないよう収益を確保し、待遇改善を早期に進める必要がある」と強調した。

軽自動車保有台数過去最高に
静岡県

静岡県が公表した4月1日時点の自動車保有台数は314万5817台で前年比0・02%（832台）減少し、4年連続で前年実績を下回った。車種別では、乗用車が微減（274万7758台、軽自動車が0・9%増（9940台）の112万7333台で、41年連続で増え続け過去最高を更新した。

HVやPHV、EVを合わせた「電気自動車等」は15・3%増（3万4368台）の25万8736台で、トップの浜松市と2位の静岡市が4割超を占める。なお、全車種に占める割合は1・1ポイント上昇し8・2%となった。

関彰商事 ハノイ工科大へ支援

関彰商事（筑西市、つくば市、関正樹社長・JXTG系）は先ごろ、日本・ベトナムのスポーツを通じた国際交流を目的として、ハノイ工科大学のサッカー部支援などに対するスポンサー契約の調印式（写真）を行った。

今回の契約に基づき、同大学サッカー部のベトナム国内における活動支援のほか、筑波大学蹴球部・鹿島アントラーズFCの協力のもと、交流試合やサッカー教室併催などのスポーツ・文化交流を日本で実施する予定。

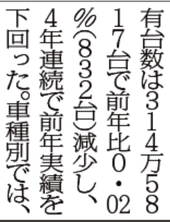
東京水素推進チーム初会合
「PR」「普及啓発」2WGを設置
水素ST候補地情報共有化へ

東京都環境局、東京石商（矢島幹也理事長）とJXTGエネルギー、自動車メーカーなどの水素関連業界、専門家で構成する「Tokyo推進チーム運営会議」の初会合が先月都庁で開催され（写真）、水素エネルギー利用の見える化を進める「PRワーキンググループ」（WG）、共同で普及啓発を行う「普及啓発WG」を設置するとともに、水素情報（水素ステーション候補用地など）の共有化に取り組むことで一致した。JXTGエネは両WGに名を連ねている。

PRWGは2020年東京五輪を見据え、19年ラグビーW杯での〝見える化〟を行う。燃料電池を活用した観光地等のライトアップやプロジェクションマッピング、科学館等での水素関連展示、FCVを活用したPRなどをイメージ。各メンバー独自による取り組みとの整合も図る。普及啓発WGは重点発信内容（環境性能、エネルギー供給源の多様化、災害時における防災性などをイメージ）を取りまとめ、共通の広報媒体（チラシ・ポスター、FCV認知度向上のためのロゴなど）を作成。両WGは今月末までに原案をまとめ、9月に開催予定の第2回運営会議で決定し各メンバーの具体的な取り組みに反映させていく。

一方、水素関連情報の共有化としてFCVの導入状況・20年度までの導入計画を調査し、PRに活用できる総合数を把握する。また、水素ST候補地の情報共有については各メンバーから提供できる土地情報を取りまとめ、エネルギー事業者に提供。提供情報の共有先は都と協議のうえで限定できるとした。

委員による意見交換では、同石商経営情報新燃料委員会の垣見裕司理事が「現在の水素ST規制をクリアできるようなスペースはほとんどない。中小SSでも供給可能となる一層の規制緩和が不可欠」などと強調。これに対して都は「規制緩和はある程度進んでいると考えているが、国への要望を続ける。都として新設以外も含めSTはとST数は増えないとみており、既存SSからの転換や併設の検討調査を今年度予算化した。SS業界と連携して取り組んでいく」と説明した。



八王子危険物安協・石森氏を表彰
東京防災救急協会

八王子危険物安全協会で会計を務めている石森浩元氏（石森石油社長・JXTG系、東京石商八王子支部監事＝写真）が先ごろ、東京防災救急協会から危険物保安功労者表彰を受けた。

危険物に関する保安確保および安全思想の普及に努めた功績が評価された。これに対して同氏は「これからも安全管理をしっかりと行いながら、より良いサービスに努めていく」と話した。

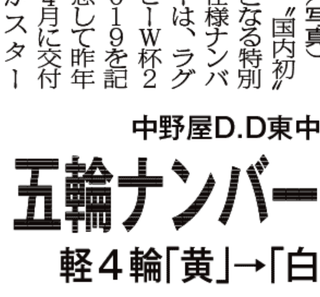
〝夏の風物詩〟カブトムシがお出迎え
吉田商事 セルフ小平SS

小平市の吉田商事（吉田武社長・出光系）セルフ小平SSでは、今夏もカブトムシとクワガタがセールスルーム入口で来店客を出迎えている。大型の飼育箱は新調され、カブトムシが力強く動き回っている。

飼育箱は手先が器用でアイデアマンのスタッフによる手作り。暑さ対策で4面すべてを開放し、可動式の日差し除けも完備しており、リゾート感が漂う。

夏の風物詩としてすっかりお馴染みの光景。顧客から「今年はやらないの」と問われ、急ぎ準備したという。カブトムシは幼虫期間が10ヵ月程度で、成虫としては1～3ヵ月が寿命とされる。冬は越せないので、卵からふ化したもの、飛んできたもの、顧客から委ねられたものが混在。子どもたちから欲しがられることも間々あるようだが、基本的には鑑賞用として設置している。

他方、逆サイドでは涼しげなミストも噴射中。地面に置いたフウセンカズラに潤いを与え続けており、こちらも心待ちにしていた顧客の目を楽しませている。


カブトムシとクワガタが来店客をお出迎え

中野屋D.D東中野SS
五輪ナンバー交換PR
軽4輪「黄」→「白」に変身！

東京オリンピック・パラリンピック開催まであと2年。

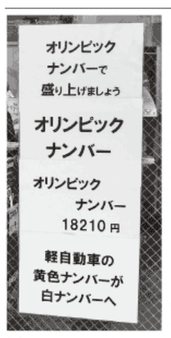
中野屋（深澤正樹社長・JXTG系）D.D東中野SSでは、五輪特別仕様ナンバープレートへの交換を油外商品の1つとしてメニュー化し、店頭でPRしている（写真）。

〝国内初〟となる特別仕様ナンバーは、ラグビーW杯2019を記念して昨年4月に交付がスタート。五輪ナンバーはその第2弾となるもので、昨年10月以降、公共交通をはじめ一般ユーザーの利用も進みつつある。

さらに、今年10月ごろからは「地方版図柄」入りナンバー」の交付も始まる予定だ。

同SSでは「オリンピックナンバーで盛り上げましょう」「軽自動車の黄色ナンバーが白ナンバーへ」などとアピールし、登録車・軽自動車ともに交付料金7210円（都内の場合）に寄付金（1千円以上）および手数料1万円を加えた1万8210円で交換を提案中。

今年2月に開催された平昌五輪では、中心市街の市内交通を偶数・奇数ナンバーによる2部制で規制したが、深澤社長は「東京五輪でも自動車交通が規制されるだろう。五輪ナンバーが優遇されればありがたい」と期待を寄せている。



計量機買取
見積無料
全国どこでも出張買取
中古部品もお任せ下さい。
ガソリンスタンドの廃業や計量機の入れ替えで不要になった計量機は、是非当社へお売りください。無料でお見積りいたしますので、お気軽にお問い合わせください。
計量機の中古部品を取り扱っております。古い計量機の部品が手に入らずお困りの際は、部品の不足で計量機を買い替える前に、是非当社へご相談ください。
買取対象製品
・固定式計量機　・ノンスペース計量機
・ポータブル計量機　・ミニローリー
・釣銭機　・カードリーダー
・コンプレッサー　・バキュームクリーナー　他
取扱中古部品
・ノズル　・スイベル　・安全弁
・ディスプレイ　・ポンプ　・基盤
・モーター
その他様々な中古部品を取り扱っております
日本スタンドサービスは計量機や部品のエコリユース活動により、お客様の給油所運営に貢献いたします。
当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。
無料お見積り・お問い合わせは
0120-016-889
◆ホームページ　http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店　http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス　検索
◆自社計量機販売　◆給油機器販売　◆計量機検定　◆計量機修理
◆中古計量機買取・販売　◆中古部品販売　◆地下タンク漏えい検査
◆移動タンク漏えい検査　◆高精度油面計　◆電気防食システム工事
◆給油所新設工事　◆給油所廃止工事　他　お気軽にご相談ください。
日本スタンドサービス株式会社
大阪本社　〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17
TEL.072-968-2211　FAX.072-968-3900
東京営業所　〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6
TEL.03-5721-4789　FAX.03-5721-4787

中部支局（名古屋市中区正木3-2-70 愛知県石油会館）
052（321）6001

中部

宇佐美三郎中部支部長に聞く

将来見据え経営体質改善を

トヨタのお膝元である「車王国・愛知」を石油販売業界トップとして支えて7年目。全石連副会長・中部支部長の要職も5年目を迎えた愛知石商・協の宇佐美三郎理事長に、直面する諸課題や今後について聞いた。

「コストコが不当廉売を続ける限り徹底的に戦う」と語気を強める宇佐美支部長

――元売再編で組合員の経営環境も少し良くなりつつあるのでは。

昨年のJXTG発足で業転玉の横行はかなり抑えられ、極端な安売業者は減ってマーケットが徐々に落ち着きつつある。この流れの中で、懸案だった出光と昭和シェルの統合が本決まりしたことは良かったと思う。黒字決算の元売各社が我々販売業界にいままで以上に目を向けてくれることを願っている。

――コストコ問題が全国的にクローズアップされているが。

コストコのSS激安商法がいかにひどいものか、組合員は十分知り尽くしている。特に現在開業している11店舗のコストコの中でも常滑は最安。この不当廉売に対し愛知石商は29回にわたり公取委に訴えてきた。このままだと地域の暮らしを守っている既存店がコストコによって消され、SS過疎地が増えていってしまう。全国に拡大し続けるコストコは、中部でもさらに名古屋の守山区、石川の野々市、三重の北勢などに進出計画が浮上している。地元同業者を守っていくため、徹底的に戦っていく。

――官公需受注については。

需要減の中での官公需は極めて大事。県警本部や名古屋の全消防署などは随契等で確保しているがまだまだ不十分。公的機関に対し、きめ細かな行動で成果を上げていきたい。

――組合員に最も呼びかけたいことは。

EVが予想以上の速さで台頭してきている。油屋としてなんとかやっていけるのは向こう5年、10年程度。油依存の現状の経営では相当厳しくなることを覚悟しなければならない。全体的に市場の安定が見られる、いまがチャンス。まず利益を上げていくことに全力を注いでほしい。

――支部活動について。

6県の理事長はじめ役員の皆さんの協力を得ながら会議の効率化、経費軽減などに力を入れてきた。なんでもためらうことなく、本音で話し合える支部会議の実現に一層努めていきたい。

石川・金沢支部　白山登山で35人が汗

夏恒例の石川石商金沢支部（中西義浩支部長）主催による日帰り「白山登山」がこのほどSS従業員や元売、洗車機メーカー関係者など35人が参加して行われた。

富士山、御嶽山と並んで日本の3大霊峰とされる白山（標高2702㍍）を舞台に親睦を深める真夏のこの登山も今年で20回目。

参加者は白山市内の道の駅で中西支部長から「山の天気は変わりやすいので、無理をせず気をつけて登ってほしい」と激励された後、午前6時30分に登山口の別当出合を出発。

県石商副理事長でこの日の責任者である山上公介隊長の指導のもと、楽しみながら頂上を目指し、夕方までに全員、無事下山した。

白山の登山口で記念撮影。このあと頂上を目指し登山開始

油政連活動を積極化

地元議員へ石油議連加盟要望　富山

橘議員（中央）に組合活動への理解と支援を求める島理事長（右）と山本会長

富山石商・協の島竜彦理事長と富山県石油政治連盟の山本徹会長は先ごろ上京し、地元選出の国会議員に対して自民党の石油流通問題議員連盟（野田毅会長）への加入と業界への理解を求めた。富山県選出の国会議員5人（衆3・参2）全員が自民党所属という自民王国だが、石油議連加入は1人だけだった。県石商と油政連の積極的なこの動きに3議員が賛同、加入の手続きを取った。

地元選出の国会議員加入を要請。

これに対し衆院の橘慶一郎議員（富山3区）、田畑裕明議員（富山1区）と参院の野上浩太郎議員（富山全県）が協力を約束。3議員とも議連加入に必要な同石商と油政連の推薦を添えて入会の申し込み手続きを行った。残る参院の堂故茂議員（富山全県）も加入の方向で検討しているといい、要請活動は大きな成果を上げた。

一方、地元での対応も強化。自民党県連の石油組合支部として存在感を強めていくため、同石商役員を中心に、党員をほぼ倍増の50人に増やすことで役員会の賛同を得た。なお、山本会長は自民党県連幹部で、県議会の副議長を務めている。

議連メンバーになっていただき、国政の立場から関与・対応してもらおう」と島理事長と山本会長は議員会館の5議員の事務所を個別に回り、業界の現状説明と石油流通議連への加入を要請。

これに対し衆院の橘慶一郎議員（富山3区）、田畑裕明議員（富山1区）と参院の野上浩太郎議員（富山全県）が協力を約束。3議員とも議連加入に必要な同石商と油政連の推薦を添えて入会の申し込み手続きを行った。残る参院の堂故茂議員（富山全県）も加入の方向で検討しているといい、要請活動は大きな成果を上げた。

一方、地元での対応も強化。自民党県連の石油組合支部として存在感を強めていくため、同石商役員を中心に、党員をほぼ倍増の50人に増やすことで役員会の賛同を得た。なお、山本会長は自民党県連幹部で、県議会の副議長を務めている。

福井・福井支部　ビールで乾杯！　40人が親睦深める

福井石商福井支部（栄月一浩支部長、栄月社長・JXTG系）の親睦ビアパーティー（写真）が、このほど福井市内で組合企業、SS従業員ら約40人が参加して開かれた。系列や所属会社の枠を越えての交流の場は、2月の福井豪雪後初めて。

栄月支部長は「豪雪時、福井は大変だったが、西日本では豪雨によりそれ以上の大きな被害を受けている。石油は災害時の重要な燃料。我々販売現場はいつなにが起きてもしっかりと対応し、地域住民の信頼を確たるものにしていかなくてはならない。業界は大きな変革期にあるが、石油供給の重みを常に考えながら、猛暑に立ち向かっていこう」とあいさつ。

田中敏夫県石油政治連盟会長、河部秀範県石商専務理事らも駆けつけて、仕事を終え参加したSS従業員らを激励。ビールやソフトドリンクで真夏の一夜を楽しんだ。

7 2018 monthly datafile

■価格指標■

	国内指標FOB ($/B)	国内指標FOB (¥/L)	原油CIF ($/B)	原油CIF (¥/L)	SS店頭価格 ガソリン (¥/L)	SS店頭価格 灯油 (¥/L)	SS店頭価格 軽油 (¥/L)	卸価格（軽油は税抜き） ガソリン (¥/L)	卸価格（軽油は税抜き） 灯油 (¥/L)	卸価格（軽油は税抜き） 軽油 (¥/L)	先物最期近物 ガソリン (¥/L)	先物最期近物 灯油 (¥/L)	先物最期近物 軽油 (¥/L)
16年7月	42.46	28.04	47.71	30.95	123.1	64.1	103.0	101.7	45.7	46.8	41.48	38.35	38.86
17年7月	47.57	33.94	48.35	34.18	130.2	76.2	109.9	108.7	52.2	53.0	49.05	47.14	48.00
8月	50.22	35.04	48.99	34.13	131.3	76.1	110.2	108.9	52.8	53.6	49.74	47.90	48.00
9月	53.67	37.72	51.51	35.47	131.7	76.2	110.5	110.2	54.7	54.7	50.75	49.52	48.25
10月	55.54	39.81	54.81	38.74	135.1	77.9	113.4	113.1	59.4	58.1	53.94	54.44	49.95
11月	60.82	43.59	57.76	41.25	139.0	81.5	117.0	116.3	63.9	61.7	57.86	58.64	54.52
12月	61.59	44.17	62.41	44.15	141.5	84.1	119.5	117.5	65.2	63.0	57.69	59.61	58.00
18年1月	66.19	46.57	64.57	45.68	143.7	86.5	121.6	119.9	67.9	65.6	59.89	63.47	59.68
2月	62.72	42.98	68.31	46.94	144.7	88.1	122.9	118.4	67.8	65.1	57.53	64.59	60.10
3月	62.73	42.24	66.79	44.76	143.7	88.0	122.2	116.4	66.8	63.9	55.40	60.42	62.00
4月	68.26	46.56	66.20	44.26	143.5	87.8	122.1	119.2	67.4	66.6	59.97	60.79	61.48
5月	74.41	51.83	70.78	48.56	147.7	89.6	126.3	124.6	71.7	72.0	65.24	65.98	65.97
6月	73.59	51.39	76.66	52.73	152.0	92.6	130.4	126.2	73.2	73.5	63.72	66.40	68.26
7月	73.11	51.68	-	-	152.1	92.9	130.6	☆126.1	☆73.1	☆73.4	64.50	67.81	69.56
最近値	72.31	51.05	76.09	52.82	152.1	93.0	130.8	☆126.0	☆73.0	☆73.3	64.26	66.75	69.00

☆は本紙推計

■ガソリン関連指標■

（単位は全て¥／ＫＬ）

	精製卸の総コスト（海上：ＳＳ渡し格差調整済み） 東商取	京浜業転	ボトム仕切	全国平均	全国最低	卸指標別の小売りの粗利（全国平均小売価格比） 東商取	京浜業転	ボトム仕切	全国平均	全国最低
15年7月	16,820	11,760	13,350	16,280	14,880	11,670	16,730	10,930	12,210	9,400
16年7月	14,580	11,270	10,220	14,320	13,020	11,970	15,290	12,060	12,240	9,250
17年7月	15,620	18,380	18,990	19,650	18,450	15,850	13,090	8,470	11,820	9,010
8月	15,570	18,310	17,960	18,620	17,420	15,720	12,990	9,420	12,670	9,960
9月	15,160	19,160	18,160	18,820	17,520	15,360	11,360	8,170	11,700	8,810
10月	13,490	18,800	18,380	19,040	17,740	17,550	12,240	8,120	11,990	8,760
11月	14,590	19,930	19,490	20,150	19,050	17,970	12,620	8,780	12,400	9,220
12月	14,730	16,910	16,910	17,570	16,570	16,360	14,170	9,550	13,520	9,890
18年1月	13,990	20,770	18,730	19,390	18,290	18,520	11,740	9,400	13,110	9,830
2月	13,790	18,620	14,830	15,490	14,290	17,310	12,480	11,270	15,610	11,810
3月	15,010	18,940	16,410	17,080	15,880	18,680	14,750	11,670	16,610	12,210
4月	13,620	21,380	19,950	20,620	19,220	20,620	12,860	7,430	13,620	8,170
5月	13,870	22,180	21,040	21,700	20,400	20,010	11,700	6,060	12,180	6,700
6月	13,870	17,520	17,420	18,030	16,830	18,710	15,060	8,320	14,540	8,910
7月	12,780	19,580	17,780	18,390	17,190	20,320	13,520	9,260	☆14,710	☆9,850
最近値	13,670	19,660	18,030	18,640	17,440	19,770	13,780	10,240	☆14,810	☆10,820

☆は本紙推計

■需給指標■

（単位は全て千ＫＬ、太字＝100）

	燃料油販売量(ガソリン)	（灯油）	（軽油）	原油処理量		ガソリン在庫		灯油在庫	
15年度	180,476	53,127	15,946	33,594	4月4週	3,386.2	108.2%	1,718.3	118.0%	1,374.3	90.9%
16年度	176,931	52,508	16,257	33,326	5月1週	3,415.2	109.1%	1,661.3	114.1%	1,461.0	96.6%
17年度	174,747	51,833	16,642	33,820	2週	3,284.7	104.9%	1,719.1	118.1%	1,483.0	98.1%
17年7月	13,726	4,687	444	2,929	3週	3,031.5	96.8%	1,778.5	122.2%	1,458.5	96.5%
8月	14,094	4,881	475	2,764	4週	3,046.4	97.3%	1,765.5	121.3%	1,511.7	100.0%
9月	13,512	4,300	687	2,847	6月1週	2,988.2	95.4%	1,853.7	127.3%	1,517.8	100.4%
10月	13,893	4,244	1,078	2,734	2週	2,915.1	93.1%	1,758.3	120.8%	1,526.8	101.0%
11月	15,108	4,257	1,760	2,927	3週	2,803.2	89.5%	1,743.2	119.7%	1,542.0	102.0%
12月	17,359	4,656	2,888	3,055	4週	2,760.6	88.2%	1,674.9	115.0%	1,521.4	100.6%
18年1月	16,076	4,029	2,807	2,598	5週	2,817.8	90.0%	1,607.3	110.4%	1,540.0	101.8%
2月	15,793	3,873	2,699	2,758	**7月1週**	**3,130.9**	**100%**	**1,455.8**	**100%**	**1,512.2**	**100%**
3月	15,109	4,328	1,736	3,049	2週	3,332.1	106.4%	1,536.7	105.6%	1,548.1	102.4%
4月	13,181	4,076	864	2,690	3週	3,457.5	110.4%	1,532.8	105.3%	1,620.4	107.2%
5月	13,054	4,250	550	2,622	4週	3,478.5	111.1%	1,482.5	101.8%	1,704.0	112.7%
6月	11,719	4,140	421	2,809	8月1週	3,491.4	111.5%	1,503.9	103.3%	1,733.8	114.7%

■ガソリン・灯油在庫の推移

■地域別指標■

（単位：¥／Ｌ）

	ガソリン 6月卸	ガソリン 7月小売	灯油 6月卸	灯油 7月小売	軽油 6月卸	軽油 7月小売
北海道	126.2(1.7)	153.1(-0.1)	72.7(1.7)	95.6(1.1)	73.4(1.7)	135.7(-)
青森	126.2(0.5)	150.3(-0.7)	73.4(1.4)	89.6(-0.3)	73.4(1.0)	130.8(-0.6)
岩手	126.7(1.6)	149.8(-0.1)	73.3(1.5)	88.1(0.2)	74.0(1.7)	128.5(0.2)
宮城	125.6(0.8)	150.1(-0.5)	72.0(0.9)	88.3(-)	72.4(0.2)	128.8(-0.1)
秋田	126.8(0.8)	150.8(-)	73.6(0.7)	90.1(-0.1)	74.1(0.6)	129.2(-0.4)
山形	126.7(2.3)	153.6(0.2)	72.2(0.5)	91.1(0.1)	73.2(1.9)	133.6(0.3)
福島	126.4(1.5)	153.4(0.2)	73.4(1.9)	89.4(0.1)	74.0(2.1)	132.6(0.2)
茨城	126.4(1.6)	149.4(0.1)	73.3(1.4)	89.1(0.3)	74.0(1.5)	124.5(0.4)
栃木	126.9(1.1)	149.9(-0.1)	73.8(1.6)	91.4(-0.2)	74.4(1.6)	127.6(-)
群馬	127.0(1.0)	150.9(-0.1)	74.1(1.1)	92.1(0.4)	74.6(1.2)	129.9(0.4)
埼玉	125.7(1.5)	147.9(-)	72.5(1.8)	90.5(0.1)	72.9(1.3)	124.3(0.4)
千葉	125.5(1.7)	148.8(0.3)	72.4(1.6)	91.7(0.2)	72.9(1.8)	125.8(0.2)
東京	125.3(1.5)	152.5(0.2)	72.3(1.5)	98.4(0.6)	72.7(1.6)	131.4(0.3)
神奈川	125.4(1.9)	150.6(-0.1)	72.5(2.8)	92.8(0.5)	72.6(1.6)	127.6(0.5)
新潟	126.8(1.1)	150.8(0.5)	73.2(0.5)	94.1(0.8)	74.3(1.3)	131.9(1.1)
長野	127.7(1.2)	155.4(-)	74.5(1.1)	90.8(-0.1)	75.0(1.0)	133.8(0.1)
山梨	127.1(1.5)	153.2(0.2)	74.1(1.9)	91.7(0.2)	74.7(1.8)	127.9(0.2)
静岡	126.4(1.9)	152.8(-)	73.6(0.8)	95.1(0.3)	74.0(1.2)	131.7(-0.1)
愛知	125.2(1.7)	150.4(-)	72.5(1.8)	91.6(0.6)	72.6(1.7)	131.6(-)
岐阜	126.1(1.7)	153.4(0.4)	73.1(1.6)	90.8(0.5)	73.2(1.4)	132.6(0.4)
三重	125.9(1.9)	151.7(-0.2)	73.4(1.8)	93.4(0.4)	73.4(2.1)	132.2(-0.4)
富山	126.6(1.7)	152.4(0.4)	73.7(1.8)	95.3(-0.1)	73.8(1.7)	132.8(0.5)
石川	127.7(1.8)	150.0(0.2)	74.4(1.7)	91.1(0.2)	75.3(1.6)	128.1(0.6)
福井	126.7(1.4)	152.9(0.4)	73.5(1.5)	95.7(0.6)	74.3(1.7)	132.5(0.9)
滋賀	125.9(1.9)	150.7(-)	73.7(2.2)	90.9(-)	73.1(2.1)	125.1(-0.1)
京都	126.0(1.9)	154.4(0.1)	73.2(2.0)	94.2(0.1)	73.6(2.0)	131.8(0.3)
奈良	125.6(1.8)	150.5(0.2)	72.9(1.8)	89.5(0.3)	73.0(2.0)	127.7(-)
大阪	125.2(1.7)	151.9(0.3)	71.6(1.2)	89.6(0.5)	72.4(1.5)	128.2(0.5)
兵庫	125.9(1.5)	151.4(0.5)	72.7(1.6)	90.9(0.4)	73.2(1.6)	127.9(0.6)
和歌山	126.2(1.9)	151.1(0.1)	73.4(1.9)	91.1(0.2)	73.3(1.4)	125.5(0.2)
鳥取	126.8(2.2)	150.3(-0.8)	73.8(2.1)	96.9(-0.3)	73.9(2.0)	133.1(-0.4)
島根	126.7(1.3)	154.7(0.1)	73.9(1.4)	98.9(0.3)	74.3(1.6)	135.3(0.1)
岡山	125.0(1.7)	148.6(-0.1)	72.1(1.9)	90.5(0.2)	72.2(1.3)	128.7(-0.1)
広島	125.7(1.8)	150.6(0.3)	72.9(1.6)	92.8(0.4)	72.9(1.8)	130.7(0.4)
山口	125.3(1.9)	151.4(-0.4)	72.6(2.1)	95.0(0.1)	72.6(1.6)	132.0(0.5)
徳島	127.1(1.2)	145.6(1.0)	74.1(1.2)	90.3(0.9)	73.7(0.4)	125.0(1.2)
香川	126.2(2.2)	149.8(-0.1)	73.0(2.3)	88.1(0.3)	72.9(1.8)	124.1(-0.1)
愛媛	126.0(2.1)	154.1(0.6)	72.8(2.1)	93.6(0.3)	73.3(2.1)	132.2(0.6)
高知	126.3(1.8)	154.1(0.1)	73.4(1.2)	93.8(-0.1)	73.3(1.5)	134.0(0.2)
福岡	126.1(1.9)	153.5(-)	73.1(1.6)	91.3(0.3)	73.4(2.0)	128.7(0.2)
佐賀	126.9(1.2)	156.6(0.1)	74.5(2.0)	95.9(0.5)	74.0(1.1)	133.6(-0.1)
長崎	131.6(0.9)	160.9(-)	77.3(0.2)	98.2(0.3)	78.8(1.3)	142.6(-)
熊本	126.4(1.0)	154.0(0.1)	73.8(1.8)	92.8(-0.1)	73.9(1.3)	128.4(0.3)
大分	125.5(1.8)	157.0(1.0)	72.7(2.1)	95.0(0.2)	72.8(1.8)	133.4(0.9)
宮崎	125.8(0.8)	152.1(0.1)	73.0(0.8)	95.7(0.2)	73.4(1.0)	130.6(0.4)
鹿児島	127.3(1.4)	158.1(0.5)	74.7(1.5)	101.6(0.8)	74.6(1.4)	138.5(0.4)
沖縄	128.2(3.8)	157.4(0.7)	75.5(1.3)	109.8(0.6)	80.2(5.4)	137.7(1.2)
全国	126.2(1.6)	152.1(0.1)	73.2(1.5)	92.9(0.3)	73.5(1.5)	130.6(0.2)

TMC TOMINAGA MFG CO
"燃料供給システム"の明日に取組む

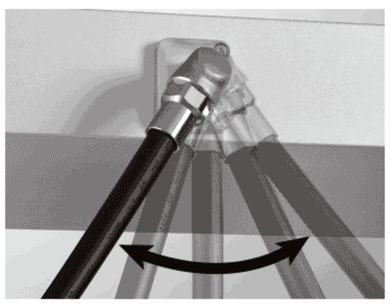
新発売
ALUNA MULTI
アルーナマルチ

NEW 大型で見やすい高輝度LCD表示器
業界最上級モデルのVA方式高輝度大型LCD表示器を搭載。
ブラック素地に白文字を浮き上がらせ、鮮やかなコントラストと大型文字により昼夜を問わず、どの角度からでもハッキリと見やすい表示を実現しました。

▶給油シグナル
ノズルや給油の状態をお知らせする機能です。
ノズルを取る　ノズルマーク点灯
給油中　給油マーク点滅

▶流速インジケーター
給油中の流速を「4分割」にしたグラフで表示。
流速が一目でわかる安心マークです。

NEW スムーズな給油操作を実現できる スイングデリベリベンド
計量機とホースのジョイント部に「回転式のデリベリベンド」を装着。ホースの有効リーチが大幅にアップし、取り回しもスムーズになります。



安心の"ダブルチェック"水検知機能
AQUATECT® NEW
誤って油中に混入した水を、車両に給油してしまうトラブルを未然に防止。
計量機内部に、2つの高精度水検知センサーを装備し、水を検知すれば強制的に給油をストップします。

http://www.kyoto-tmc.co.jp

株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312　東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180　関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606　高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118　事業所・代理店／全国主要39都市